

「歴史を楽しむ」ということ

講談と室内楽で綴る「ふるさと小野」音楽絵巻

歴史を知る会 会長 坂田 大剛

日本人は歴史が好きな国民だとよく言われることだが、確かに、NHKの大河ドラマになると、その舞台となった地は、各地から観光客の波が押し寄せ、昔も今も変わらない現象である。しかし、意外と、それが正しく理解されているとは限らない。

私たちの「小野の歴史を知る会」は、創立23年を経て、会員数は350名を擁する会になってきた。会員数が拡大するにつれ、その目的も多様化せざるを得なくなってきた。

当初、この地方の歴史を知るという趣旨でスタートしてきたが、この歴史を素材としてどう楽しんでゆかかという目標としていきたいと考えている。

今回、エクラ一周年記念企画「ふるさと小野」で音楽と講談による新しい試みとして、小野の歴史を主題にしたテーマに取り組むこととなった。

このたびのテーマとした「長祿の変」は播磨の中世史として「嘉吉の変」に引き続き重要な事件であり、しかも、その事件の首謀者はまぎれもなく、かつての小野の住民である国人たちであり、日本史の表舞台へと登場した者たちであった。自らの意志でこの企てに参画することによって、播磨の主導権を握り、有名な「応仁・文明の乱」を戦い抜き、後期赤松氏を支えたのは、これらの人々たちであった。

この事件は、市民にとっても心に留めておきたい事件であり、新たな感動を呼ぶはずである。この地には、この事件に関連する「首洗いの井戸」などの伝承、或いは城跡があり、これらをもう一度評価することにより、より一層、歴史を楽しむことができるものと考え、テーマを設定したものであります。

幸いに、原作者の力量により、講談とは言え、むしろ、ドキュメントに近い、史実に忠実な物語となり、その悲愴感がより一層、増大した結果となり、感動を新たにすることができたものと自負いたしております。できることとなれば、この講談が1人歩きをし、他の地でも公演されるようになり、全国的な名声を得られるまで成長してほしいものと考えます。公演者の旭堂南左衛門さんの格調高い語り、芸の力もあり、存分に楽しませていただきました。

市内にはまだまだ魅力的な伝承・史実が残っており、例えば「義経伝承」「浄土寺と開祖重源上人」「天保4年・加古川筋一揆」等々の素材があります。機会があるなら、これらの講談化に挑戦したいものです。

それらが、歴史を楽しむことになるのではと考えています。皆さまのご協力に感謝いたしております。ありがとうございます。



クラシックと人情。そんな組み合わせから、かけがえのないドラマが生まれる。

梯剛之ピアノリサイタル

夢発信委員会

1年ぶりに、ピアニスト梯さんがエクラにやって来た。約束どおりの再会である。

エクラに到着され、再会を喜び合うのもそこそこに、梯さんは真っ先にピアノの前へ。

「ああ、よかった」

片手でぼろんと弾かれての第一声だった。「自分で選んだピアノだけに、一番気がかりでした」とも。「このピアノは、これからまだまだ良くなりますよ」と、梯さんも楽しみにされている様子だった。

今年は、3日間のリハーサル。一年前と同じ、朝の9時から夜の8時まで、ひたすら自分の理想の音を追い求めてエクラのピアノに向かわれた。去年にも増して、素晴らしい演奏だった。やさしさも誠実さも人を信じる気持ちも、透明感のあるピアノの音で、しっかりと私たちに伝えてくださったのだ。

アンコール最後の曲、ショパンの「子守唄」に、自然と涙がこみ上げてくる。私たちの心にそっと呼びかけてくるやさしい響き。それが、梯さんの音楽だ。

老夫婦がホールから出てくるなり、「ほんとうに、心のおやさしい方ですね」と涙ぐんだ目でそう言われ、またある方は、「あなた、あの方にお会いになる?ぜひ、ありがとうございますと伝えてください」と。

打ち上げは、梯さんの希望でそうめんパーティーとなった。サンパティオで買ったトマトや椎茸や小松菜を口にしながら、「小野の野菜は美味しい!僕、"しいたけたけし"って言われるほど、椎茸が大好き」と、話は弾んだ。

現代人が失いつつある手作りの温もり、心を込めた音創り、やさしさ、そして感謝。それが、人の心を動かすのです。今年もまた、梯さんはエクラに大きな贈り物を残して帰っていかれた。



事務局より

会員みなさまのご協力をいただき、平成17年度総会が5月20日に無事終了しました。新年度は4月に始まっていますが、総会を終え、また気持ちを新たに業務に取り組んでおります。

さて、クスクスアルシェが指定管理者をつとめる小野市うるおい交流館エクラでは、より多くの方にエクラに親しんでもらうため、「エクラ友の会」会員を募集しています!特典は次のとおりです。

【特典1】ガル・コンサートシリーズの共通チケットを1枚プレゼント

【特典2】一般発売1週間前に先行予約・優先販売(当館が指定する公演に限る)にてチケットの購入ができます。(1会員につき、2席まで)

【特典3】エクラでおこなう催し物のご案内を2~3ヶ月に一度お送りいたします。

年会費は1,000円です。是非この機会にご入会ください。

音楽を通じて仲間づくりを…

シューベルティアードおの

シューベルティアードおの 実行委員長 代表 杉元 弘道

私たちシューベルティアードおのは、平成17年7月に実行委員会を結成致しました。NPO法人北播磨市民活動支援センターより、コンサートの話がありましたのが17年5月頃、仲間呼びかけて、7名で実行委員会をスタートさせました。平均年齢は60歳を越えていますが全員体育会系で行動力とバイタリティー、また個性溢れる者ばかりで、素晴らしい実行委員会です。

初めての取り組みが、平成18年1月15日の「新春歌始めコンサート」でした。委員会の開催回数も10回を越えました。ポスター及びチラシのデザインまた学校関係へのご協力等々、それにチケット販売に奮起致しました。メンバー全員楽しみながら計画を進行していきました。

コンサート当日、来場者の方々に「大変よかったです」といわれた時は、胸に「じ〜ん」とくるものがありました。来場者の方々に楽しんでいただき、喜んでいただくことが、私たち実行委員全員の喜びです。それがまた次のスタートの力となります。もちろん新春歌始めコンサートは北播磨市民活動支援センターの強い指導力とノウハウがなくては進んでいません。これからも支援センターの指導力とプロ集団として、私たちボランティアとの絶妙な組み合わせと行動力で次のコンサートへつなげたいと思います。

今回のコンサートは平成18年9月8日(金)に決定致しました。「秋桜咲くコンサート」として、素晴らしいピアノとフルート、そして歌で初秋のひと時を楽しんでいただきたいと計画進行中です。本物をできるだけリーズナブルな入場料で多くの皆さまにお越しいただき、1人ひとりの心に秋桜の花のような美しい感動の花を咲かせていただければ…と願っています。出演者の皆さまのプロフィールは、「秋桜咲くコンサート」のチラシに詳しくお知らせいたしますのでここでは省かせていただきますが、素晴らしいコンサートになると思っています。

エクラハートフルサロンステージには秋桜が一面に咲き来場者皆さまをお待ち申し上げています。

今後ともシューベルティアードおののコンサートと親しくしていただきますようお願い申し上げます。



～吹奏楽～ school楽演祭

市民参加型のイベントとして1月29日に中学校3校、高校2校、大学1校と警察音楽隊が参加し開催されました。各校が30分ずつ演奏し、最後には合同演奏を行いました。エクラホールのステージと客席全体が一つのオーケストラになり、多くの人に感動を与えたことと思います。

イベント当日は、支援センターサポータークラブの「フロントチーム」がお客様をお迎えし、舞台設営等を「TEAM裏方」がプロの指導のもと、担当しました。

出演者からは「『～吹奏楽～school楽演祭』をとおして、たくさんの団体の方と交流を持って、また今まで関わったことのない方々と演奏することができて、とても楽しかったです。」という言葉もいただきました。

エクラを市民の手で運営するからこそ実現できるイベントを、これからどんどん企画し開催していければと思います。

興味のある方は、是非エクラを覗いてみてください!!



～喫茶より～ 喫茶カフェドアルシェ

小野市うるおい交流館エクラハートフルサロンの一角に、喫茶カフェドアルシェがオープンして1年3ヶ月。来館者のくつろぎの場として、賑わっています。

喫茶リーダー他6名のメンバー全員で、いつでも、有機栽培のできたてのおいしいコーヒーを提供できるようにがんばっています。

メニューはモーニングセットにランチメニューが加わり、手ごろな価格(600円・コーヒー付)で、オムライス、ハヤシライス、エビピラフ、カツめしなどご飯ものが好評をいただいています。ほか、スバゲティ、グラタン、ピザなどすべてのメニューの食材にも気を使い、みなさんに「美味しい」と言ってもらえるよう年齢層も考慮しつつ、栄養のバランスを考え、様々なニーズに応えていけるよう日々努力しています。最近のおすすめは、トーストセットです。トーストにピーナッツバターを塗り、果物がついて、モーニングセットと同じ380円。しかも、コーヒーのおかわりOK!少し小腹がすいたとき、ぜひ一度召し上がってみてください。

